



新しく整備された遊歩道

写真：奥米地のホタル（提供：ほたるの里づくり協議会）

第122回定例会報告	2・3	政務活動費の公表・表彰	12
予算特別委員会報告・賛否一覧表	4	組合議会報告	13
一般質問	5~9	総務文教常任委員会調査報告	14
議会報告会	10	生活環境常任委員会調査報告	15
議会モニターとの意見交換	11	市民の窓・9月定例会開催予定	16

第122回養父市議会 定例会報告

6月7日（金）から6月28日（金）までの22日間の会期で開催された定例会は、議員発議による意見書1件を含む議案等23件を審議し原案のとおり可決した。

一般質問は9人の議員が当局との活発な議論を展開した。

中間・栗ノ下辺地総合整備計画の策定

☞ 当地区内に建設されたウイスキー蒸留所は新たな地域観光交流の場であり、当地区の地域振興に資する施設として期待しているため、進入路となっている杉の界橋を架け替える整備計画を策定するもの。

【計画内容】杉の界橋整備事業

事業期間：令和6年度から令和7年度まで
事業費：1億2,900万円

問 既存の橋梁は対岸農地の進入路にもなっており、橋梁が上流に移動した場合、農地への進入は敷地内を通行することになる。橋梁だけでなく農地までの通路も市道認定する必要が生じるのではないかと。

答 敷地内の通行については、土地購入時の協議の中で企業側に了承頂いているものと認識しているが、橋梁完成後に市道の範囲も含めて検討したい。

📄 辺地総合整備計画ってなあに？

国の定める基準に該当する地域においては、辺地対策事業債の国の支援措置があります。充当可能な事業のある辺地について総合整備計画を策定することで、有利な条件で公共的施設を整備することができます。



都市公園条例の一部改正

☞ 八鹿総合体育館の空調設備工事が完了し、施設利用者の熱中症対策として6月1日から空調設備の利用を開始することに伴い、使用料を追加するもの。（専決処分）

【空調設備の利用基準・使用料】

体育館管理者が暑さ指数（WGBT）を参考に空調設備を稼働させる。

利用区分（アリーナ）	単位	使用料
全面	1時間	400円
1/2面		200円
1/3面		150円
1/4面		100円
ランニングデッキ	1人	50円

※市内、市外、年齢などによる減免はしない。



▲ 体育館内に13台設置された空調機器

兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の変更

☞ 現行の被保険者証が廃止されることに伴い、広域連合規約を変更することについて協議する必要が生じたため、議決を求めるもの。

本会議討論

【反対討論】 津崎議員

マイナンバーカードではなく、現行の紙の保険証制度を残し安心安全な医療や介護を受け続けることを求め、反対する。

【賛成討論】 藤原議員

法律の制定に伴い規約を変更するものであり、何ら問題はない。

消防普通積載車及び小型動力ポンプ取得

☞ 初期登録から20年が経過する消防普通積載車及び小型動力ポンプについて、老朽化が著しいため更新を行うもの。

【取得しようとする物件】

消防普通積載車（4WD AT）	4台
小型動力ポンプ（B2級）	5台

【設置する場所等】

消防普通積載車

関宮第2・6・8・10分団

小型動力ポンプ

八鹿第10・12分団

関宮第2・8・10分団

市道路線の認定

☞ 大屋町由良字荒神川原地先から同夏梅字赤杉地先までの農道550mを、市道路線に認定するもの。

問 なぜ市道路線にするのか。

答 当該エリアは、「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」に基づいて市が策定している「養父市基本計画」において、積極的に工場集積を図っていく重点促進区域に指定されている。このたび、既存の工場集積地の西側、4.1haの農地を転用し、新たな工場立地が計画されている。それに合わせ、道路の幅員を5mから9mに拡幅するため、市道に認定するものである。

問 道路を拡幅するための用地は、市が買収するのか。

答 工場を建設する企業から無償提供を受ける。



▲ 市道路線認定される農道。農地は工場用地となる

将来を担う子どもたちの教育環境を整えることを求める意見書

採択

上記意見書が議員発議され、全会一致で可決し、関係機関に送付した。

意見書の概要は以下の通り。

中山間地域の小規模自治体である本市においては、厳しい財政状況の中にあっても将来を担う子どもたちを中心に据えて、学校の働き方改革と両立した、子ども一人ひとりの個性や多様なニーズに対応した教育環境の維持と充実に努めている。少人数・小規模校を支える地方教育行政の実情を踏まえ、自治体の規模や財政状況による教育格差を生じさせることのないよう国として保障するとともに、地方創生に資する特色ある教育行政を地方自治体が強力で推進するため、令和7年度政府予算編成において下記の事項が実現されるよう強く求める。

記

1 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国庫負担割合を2分の1に還元すること。

2 義務教育においては30人以下、高等学校においては35人以下の少人数学級を全国的に速やかに実現するとともに、複式学級編制基準を引き下げること。

3 小規模特認校における特色ある教育活動の推進に特段の交付税措置を拡大し、中山間地域の小規模校が行う、地方創生に資する取組の支援を図ること。

4 特別な支援を要する児童・生徒のための特別支援教育支援員の配置に対する、補助事業の創設及び経費の地方財政措置を拡充すること。

令和6年度補正予算

一般会計	2億7,998万円
国民健康保険特別会計	▲286万円
介護保険特別会計	▲207万円
下水道事業会計(債務負担行為の追加)	期間：令和7年度 限度額：5,952万円

予算特別委員会は6月11日(火)、付託された補正予算について審査を行った。

28日(金)の本会議最終日において原案のとおり可決した。

一般会計補正予算の主な内容

◎石川県珠洲市に設置した移動式ランドリー引上げに伴う委託料の追加。

問 能登半島地震支援事業費を増額補正するが、内容はどのようなものか。

答 石川県珠洲市に設置している移動式ランドリーを撤去し、元の位置に戻すための費用、撤去作業員の宿泊費用、ランドリーの牽引費用などである。



▲ 設置された移動式ランドリー

◎令和6年度新たな個人住民税均等割のみ課税世帯及び令和6年度新たな住民税非課税世帯に対する給付金の世帯数増見込等に伴う増額。住民税所得割・所得税納付者に対する定額減税がしきれないと見込まれる方への調整給付金の給付。

◎関宮地域デマンド交通実証実験事業に対する補助金の交付。

☞ 過疎化が進む関宮地域において、まちの中心部へコミュニティ機能を集約する『関宮小さな拠点づくり』に合わせ、交通体系の再構築を目的に国の『共創・Ma a Sプロジェクト』を活用し、同地域において実証実験を行う。



▲ 前回の実証実験の様子

◎天滝8号橋の本復旧工事に伴う委託料及び工事費の増額。

問 天滝8号橋の復旧工事は、橋台からの工事になるのか。資材の運搬はどのような方法をとるのか。工事完了はいつになるのか。

答 既設の橋台を利用し、上部工の架け替えを行う工事で、鋼橋のトラス橋を計画している。令和5年度に7号橋の復旧工事を行った際には、部品を一つ20キロ以下にする設計を行い、ドローンで運搬した。今回もドローンを使う計画である。橋の架設は降雪の時期までを目指し、その他塗装などを含め、工事完了は令和6年度末を予定している。

養父市議会6月定例会 主な議案の賛否一覧表		○賛成 ×反対 太字の◎×は討論 ※空白は欠席														
議案内容	議員名	谷垣	植村	勝地	足立	藤原	津崎	中島	深澤	西垣	浄慶	瀬原	田路	川瀬	田村	西田
兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の改正		○	○	○	○	◎	×	○	○	○	○	○	○	○	×	



一般質問



『関宮小さな拠点』で
地域に賑わいを

せ はら けいじゅ
瀬原 敬樹 議員

順番 頁	質問者氏名・テーマ
① P5	せ はら けい じゅ 瀬原 敬樹 議員 『関宮小さな拠点』で地域に賑わいを
② P6	かつ ち てい いち 勝地 貞一 議員 感染症対策と学校の整備について
③ P6	にし がき つかさ 西垣 司 議員 養父市の農業 今後どうするのか
④ P7	じょう けい こう ぞう 浄慶 耕造 議員 人口少数集落の支援を
⑤ P7	たに がき みつる 谷垣 満 議員 パートナーシップ制度 市営住宅管理
⑥ P8	ふじ わら よし み 藤原 芳巳 議員 集落の持続のために
⑦ P8	つ ざき かず お 津崎 和男 議員 国保税の引下げを
⑧ P9	かわ せ みのる 川瀬 稔 議員 子宮頸がんワクチン特例措置
⑨ P9	とう じ ゆき お 田路 之雄 議員 郷土が生んだ偉人に学ぶ

進捗と今後の展望は

問 関宮地域局周辺一帯を子育てや福祉、住民の交流等の拠点として整備が進んでいる。事業の進捗と今後の流れについて問う。

答 ハード面では、分館に図書館や文化財の展示室を整備した。エイドホール跡地の粗造成が完了、旧地域局（旧役場）解体工事が完了し、コミュニティ施設や福祉施設等の整備を進める準備が整った。ソフト面では、計画等検討作成会議において3つの会議体（地域住民会議・地域包括ケア会議・交通配送会議）で検討された内容を融合してバランスの取れた拠点整備を目指し、施設の配置計画、整備手法、運営のあり方等の議論を重ね、概ね整備計画の方向付けをした。本年度に入り阪急CMに支援業務を委託し、同時に高齢者滞在施設等の検討のために情報収集等を行っている。整備エリア1の中で、コミュニティ施設は令和7年度、その他の施設は令和8年度の完成を目指している。



▲ 整備エリア1

健康のための整備は

問 遊歩道や農道、関宮地区に向かうアンダーパスをウォーキングゾーンとして整備し、健康増進エリアにできないか。また旧関宮小学校体育館跡地に3オン3のバスケットボールやフットサルコート等の構想はどうか。

答 今のところそういった計画はない。市民の意見を聴きながら必要に応じて検討する。

◎一般質問の様子は、ホームページから動画で見られます。

◎右のQRコードでアクセスできます。



養父市議会

検索

議会を傍聴してみませんか？

本会議の傍聴は、先着30人です。
議場（市役所3階）の傍聴席入り口で傍聴証をつけてご入場ください。
氏名等の記入は必要ありません。



感染症対策と学校の整備について

かつち ていいち
勝地 貞一 議員

新型コロナウイルス感染症について

問 新型コロナウイルス感染症は法律上の位置付けが引下げられ、5月8日で1年となる。社会・経済活動の動向をどう考えるか。

答 経済は全体として上向き傾向である。養父市の主体となる中小企業がそこまで伸びているか不明で、全体としては上向き基調である。

問 感染症の治療費は、今年4月からは自己負担となった。養父市での負担割合はどうか。

答 感染症の治療費は、それぞれの医療保険の自己負担割合に応じて1割から3割の窓口負担となる。

問 ワクチン接種の費用はどうか。

答 費用負担を助成することで、個人負担を減らし接種しやすい環境を整えていきたい。

市内小・中学校等の設備状況について

問 児童・生徒が毎日使用しているトイレは、一部を除きトイレの改修がされていない現状を、どう受け止めているのか。

答 学校トイレの洋式化について、災害時の避難所に指定されている体育館、その周辺のトイレの洋式化を図っている。学校施設のトイレの洋式化は令和5年度末48.04%で、県・全国の平均値から見ると市内学校の洋式化は低い整備状況、整備率となっている。児童・生徒が日常的に使用するトイレのすべてが洋式化に出来ていない現状ではあるが、近年の生活スタイルの変化も踏まえ、出来る限り早急にトイレの洋式化を図りたい。



▲ トイレを待つ児童



養父市の農業今後どうするのか

にしがき つかさ
西垣 司 議員

地域計画策定後に将来の選択肢は

問 地域計画の策定により、将来に向けた方向性を地域に対して、市はどのような選択肢を示せるのか。集落営農組合設立後の農業機械購入の国・県・市の支援はあるのか。

答 市は、地域の話し合いにより作成された地域計画の実現に向けて下支えすることが役割と認識。国や市でも機械購入の支援はあるが、採択についてはその時点の制度の条件による。

堆肥センター拡充と堆肥散布体制構築は

問 養父市農業ビジョンにおいて、堆肥散布体制を構築する計画となっているが、堆肥センターの拡大はあるのか。

答 ビジョンの堆肥散布体制についてはマンパワーの不足や散布日程の課題について示したものの。堆肥センターの拡大については、必要性について検討しているところ。

酪農家支援について

問 市内の酪農家は4件と少数であり先細りを懸念する。資機材更新に支援を構築すべきではないか。

答 畜産酪農支援については国の支援事業もあり活用を検討してほしい。市独自施策については、経済や環境等あらゆる状況を見極めて必要であれば対応したい。

但馬農業高等学校のあり方について

問 但馬農業高等学校の募集枠を全国に拡大するよう県関係機関に働きかけるべきではないか。

答 農業の担い手の育成には、高校と地域との連携の強化、農業経営に係る環境の整備、学校の魅力向上等が考えられる。全国募集を行っている高校もあるが、全国募集＝シンプルに生徒を集めることは難しく、養父市における農業の付加価値を高め、魅力の向上を図ることが農業の後継者を育む手立てとなるのではと考える。県教委も県立の農業高校の全国募集枠は考えていないが、そういった動きがあれば連携していく。



人口少数集落の
支援を

じょうけい こうぞう
浄慶 耕造 議員

若者が働きたい企業の育成

問 「まちづくり計画」の人口目標は2050年で2万人だが、2万人を下回った人口が再び増加に転じるプロセスを想定しているのか。

答 今人口減少に歯止めがかかっていないが、平成26年から10年間でおよそ500世帯1,000人の移住があった。いつとは言えないが、今の対策を続ければ人口維持が可能になってくる。

問 集落が無居住地になるのが一番の心配だ。

答 デジタル技術も活用して、医療や介護、交通などを提供していく。豪雪で厳しいところは冬場だけ住まいを移す住宅を考える。集落を守っていくという考えで進めている。

問 「働く場所」を作って、若者が地域に残り、他所からも人が来る地域にするためには企業を育てることが大事だ。企業経営の専門家を入れて経済ビジョンを作ってはどうか。

答 市としては商工会や企業人とも意見交換しながら支援策を作ることで成長を支えたい。やぶパートナーズも、もともとはシンクタンク機能を持った会社として作った。まだダイナミックな動きができていないが今後役立たせる。

問 移動販売事業は地域にとって必要で大事な事業だ。運営を補助すべきではないか。

答 市は移動販売事業者に組織を作ってもらって早い時期から支援してきたが、今の時代に合わせて考えさせてもらいたい。



高
齢
者
の
買
い
物
を
支
え
る
移
動
販
売
車



パートナーシップ制度
市営住宅管理

たにがき みつる
谷垣 満 議員

パートナーシップ制度への対応について

問 運用に向けた準備の進捗状況は。

答 市営住宅の入居と犯罪被害者等支援制度については、6月から運用開始した。他にも対応可能な制度については、準備が整い次第、順次運用を開始していく。

問 夫婦、婚姻、家族を要件と明記している制度がある。それらの対応はどうか。

答 空き家活用支援は移住定住促進の側面もあり、年度内の対応が可能ではないかと考える。その他についても検討を進めていく。

募集停止している市営住宅内の空き建物周辺等の維持管理について

問 空き建物周辺や共用の公園に雑草が生い茂り、衛生面・防犯面で住民の懸念となっている。入居者の減少に伴い、一定の条件を基に市が管理していく必要があるのではないか。

答 原則的には入居者の管理であるが、困難な実情も理解している。個別の対応もしているが、入居者と相談しながら適切な管理に努めたい。区や地域自治組織の協力もお願いしたい。

問 団地住民の負担軽減と住環境確保に、募集停止している団地の空き建物等は、部分的にでも用途廃止や他の活用を進めるべきでは。

答 他の用途への活用や、地域から土地活用の前向きな要望があれば市も答えていきたい。また、周辺環境へ著しい影響を及ぼす場合には、市の方でも対応を検討していきたい。



空
き
建
物
周
辺
の
管
理
が
困
難
と
な
っ
て
い
る



集落の持続のために

ふじわら よしみ
藤原 芳巳 議員

過疎対策について

問 高齢化と世帯数の減少は、新たな課題を生み出している。暮らしを守る新たな仕組みの構築とともに、次の時代への人材育成が急務である。地域の持続へ向けた対策の現状と今後の方策を問う。

答 過疎対策は、道路や上下水道整備など社会資本の整備(ハード)から、医師確保など(ソフト)へと拡充されてきた。今後は地域の維持・活性化のための人材の育成・確保、少ない人口で地域を守るための技術革新やデジタルの活用などが必要。



別宮の棚田

問 国の採択を受けた実装タイプのデジタルシステム構築(非パーソナル、パーソナル、分析)は、どのように市民に影響を与え、持続可能な地域社会の形成に資するのか。

答 快適で便利、豊かで安心な、居心地の良い持続可能な地域社会を目指すもの。養父市の地域課題解決のための一手段として進めている。令和6年度は、健康加齢に資するものである。

問 自治協の地域活動推進員と集落支援員は同じか。人件費を含む包括交付金の考え方は。

答 地域活動推進員と集落支援員の役割に大きな差異はないと考えている。最低賃金の高騰もあり、人件費を含めて包括交付金の全体的な見直しを行っている。今は事務局職員が全てを担っているが、勤務体系やプレイヤーをだれにするのか、事務局だけでなく地域全体で担う等、人材育成も含め、市も一緒になって考えていく。



国保税の引下げを

つぎき かずお
津崎 和男 議員

県下統一後は保険料引上げ

問 国保税は現在養父市独自で決定しているが2030年に県下統一保険料となると、保険料引上げが心配される。どうなるのか。

答 現在、県が示す標準保険料率より養父市は低い。統一後は市独自では決定できない。

問 国保の所得に占める保険料負担率は10.2%。サラリーマンは組合健保が5.8%で共済組合が5.9%と国保は2倍近い保険料。この不公平な状態をどう考えているのか。

答 保険料はサラリーマンは2分の1負担、国保は全額負担。国保の医療費は平均36万円でサラリーマンは17.8万円。国保の低所得者は7割、5割、2割それぞれ軽減制度がある。

高い保険料の引下げを

問 国保の均等割保険料は1人当たり33,400円で子どもが3人なら10万円を超える。サラリーマンにはこんな加算はない。少子化対策や子育て支援に逆行する。まずは国保基金3億2,000万円全額取り崩して引下げを。

答 今年度は3,000万円取り崩す。2030年統一保険料へ段階的に活用したい。

問 国保会計で子どもの均等割保険料は対象者が何人で総額いくらなのか。

答 18歳までは425人、約800万円である。

問 わずか800万円なら今すぐ均等割保険料を無料にし、「日本一子育てしやすいまち養父市」の子育て支援制度とするべきだ。

答 国県の市長会で国庫負担割合の増額や子どもの均等割軽減などを要望している。



公立八鹿病院



**子宮頸がん
ワクチン特例措置**

かわせ みのる
川瀬 稔 議員

ワクチン一時中止の救済を

問 未接種者への周知について

答 ワクチン接種については、積極的勧奨がされなかった時期があり、それらを補うためにキャッチアップ接種が実施されている。基本的には平成9年生まれから平成19年生まれの方が対象となる。対象者は個別に市で把握できている。人数は令和6年4月1日時点で810名である。今の接種状況を言うと、1回目の接種を終了された方が43%である。周知については、令和4年度5月に1回、令和5年度に2回案内文書にパンフレット等も同封し個別に通知を実施し、制度の周知を図っている。

キャッチアップ接種については、令和4年4月から令和7年3月までの3年間で今年度が最終となる。3回の接種を受けようと思えば、1回目を今年の9月末に受けなければ、3回の接種を受けられないという状況もあり、今年6月末時点で未接種の方に対し、再度7月に個別に通知する予定で現在準備を進めている。

子宮頸がんワクチンは基本的に対象者が小学校6年生から高校1年生が対象で、がんに対する知識を深めるために「大人も子どももがんを知る本」という冊子を作製し、その中に子宮頸がんのことについても説明、有効性を含めて記載している。学校を通じ保護者の方に見ていただけるよう配布し、ワクチン接種に対しての理解、促進ということで啓発している。



**郷土が生んだ
偉人に学ぶ**

とうじ ゆきお
田路之雄 議員

郷土の偉大な先人に学ぶことについて

問 養父市は、儒学者の「池田草庵」先生をはじめ「北垣国道」、「上垣守国」など、偉大な先人を輩出している。これらの教えを未来にどう活かしていくか。

答 養父市教育大綱で、池田草庵先生の3つの心①自分自身を律する心②夢を諦めない粘り強い心③逆境に負けないしなやかさ、を教育の基本としている。

問 第三代京都府知事の北垣国道は、「琵琶湖疎水事業」を約5年の歳月と多額の資金をかけて、国家の大事業を完成させた。この疎水事業成功の裏方立役者で、郷土出身の測量技師・島田道生を顕彰し、子どもたちの将来の夢に活かさないか。

答 建屋小学校では、演劇などで「北垣国道物語」などで行っている。今後も養父市出身の偉大な先人が琵琶湖疎水事業を行ったことなどを郷土の誇りとして、子どもたちの学びに生かしたい。

問 日本の近代養蚕業の父「上垣守国」の偉業を称えたマンガ絵本がわかりやすく好評である。引き続き「北垣国道と島田道生の業績」としてマンガ絵本を発行し、ふるさと教育に活用してはどうか。

答 北垣国道と島田道生の伝記資料がなく、知事として公人の北垣国道の事実検証が必要である。郷土が生んだ偉人であり今後は考えたい。今は好評の「上垣守国」マンガ絵本を市内外に広めたい。



北垣国道の生家跡とヒダリマキガヤの木

第26回 議会報告会

4月19日(金)から5月2日(木)まで、地域自治組織9カ所で開催し、141人(うち女性16人)の参加がありました。主な内容は下記のとおりです。詳しくは議会ホームページをご覧ください。

八鹿病院について

意見 八鹿病院にPET-CTが導入されるが、市民は検診等で利用できるのか。

答 認知症、がんを早期発見しその治療に役立てるもので、令和6年度中に利用できる見込みである。

意見 産婦人科の常勤医師がおらず分娩できない。子育てしやすいまちとして市内で出産できるようにならないか。

答 継続的に要望は行っている。医師を仲介する業者もあり依頼している。この問題は全国的な問題であるが努力している。

意見 議会の今後の議論として、豊岡、八鹿病院組合の統合の議論が必要では。豊岡病院に入院したが養父市民であるため料金が高いのはなぜか。

答 豊岡市、朝来市議員の考え方も機会があれば聞きたい。構成市町の負担金、税金の投入などの原則の決まりがあり差額が生じている。

意見 八鹿病院は医師が減り患者が減っていると聞く。当然経営が厳しいと思うが現状はどうか。

答 八鹿病院が保有する預貯金と借入額を見る限り問題はない。しかしコロナ禍を除けば赤字経営が続いている。赤字幅を減少する経営改善が必要だ。養父市の医療機関として市民全体で支えていくことが必要と考える。

下水サーベイランスについて

意見 下水サーベイランスの正確性はどのくらいあるのか。濃度が高くなっても行動制限が行なわれたことがないが、何のためにしているのか。

答 正確性があるとは言い切れない。コロナが2類から5類に移行したことで市民の関心は低いが医療機関等は指標にしている。市は市民の健康と命を守る指標になるものとして取り組んでいる。

意見 下水サーベイランスの予算変更は解りにくい。経過の説明をしてほしい。もっと議論するべきだ。赤黄青で「警告」というがどこに信号があるのか。多くの市民は理解していない。

答 下水中のコロナウイルス量を測定して感染の動向を把握する事業だ。制度と市民周知にはまだ課題がある。拡大は時期尚早というのが予算特別委員会の修正案。本会議では市民の健康を守るためだとして原案可決となった。下水サーベイランスの結果は市役所の夜間照明、ホームページ、CATVの放送で知らせている。

その他の意見

意見 少子化の中で建屋小学校の特認校制度がいつまで続けていけるのか心配だ。教育長は統廃合はしないと断言しているが全体が減っている。子どもたちが地域に残れる施策を考えてほしい。

答 建屋活性化委員会からも住宅が必要という声が上がっている。農村RMOという地域づくりを建屋・三谷が一緒になって取り組まれようとしている。子どもの確保、住宅建設、移住促進を進めていきたい。議会も全面的に協力したい。

意見 関宮まちづくり協議会で「子ども食堂」に取組むが、市の説明で対象は旧関宮校区の子どもだけになっているが関宮学園の友だち同士で参加したいのではないか。

答 初めての取組みで試行錯誤はある。規定は作っているであろう。運営しながら変更は必要となってくる。議会も検証しながら意見を申し上げる。



議会報告会

令和5年度 議会モニターとの意見交換会

3月28日（木）、議会モニターとの意見交換会を開催し、8人の議会モニターと議長及び議会運営委員会委員を合わせた8人の議員で、本会議や議会運営に関することなどについて意見を交わした。主な内容は以下のとおり。

本会議や委員会の議会運営など

意見 委員会など、複数のテーマを協議するとき午前中で十分議論できなかつたら午後や翌日に行っては。終わりの時間を決めた運営はおかしい。

答 議論が深まり、必要になれば追加で委員会を設けている。

意見 一般質問の通告の内容が細かすぎる。もっと自由闊達かつたつにいろんな意見を出して議論を深めるべき。

答 通告の中から広がっていくことは重要。議員の努力不足の部分もある。当局から何を聞きたいのか細かく要求される。ただ数字を尋ねるのは反省すべき課題である。

議会だよりやホームページなど

意見 本会議はケーブルテレビ放送やインターネット配信されている。委員会等の動画を配信・公開できるよう推し進めてほしい。

答 開かれた議会のため動画配信については検討する。

意見 限られた紙面で全部書くことは不可能とは思いますが、議会だよりの一般質問は一部だけの切り取りではなく、わかりやすく書いてほしい。

答 次号からレイアウトを変更し、読みやすくなる予定である。

政務活動費

意見 政務活動費は用途の透明性を前提に知識を蓄えるためなどであれば、しっかり精査して上限100万円でもいい。無制限でもいいと思っているぐらいだ。

答 地方自治法や議会基本条例を根拠に透明性の確保、説明責任に留意し交付している。予算編成上上限は必要。現在は増額と用途基準の見直しを検討中である。

意見 出張時の宿泊費は、飲食代は別で規定の額1万円を限度とすることよい。

答 基本的には飲食代は支出できないと明確に書いてある。

議会図書室

意見 新設する議会図書室の本は閲覧だけで借りることはできないのか。

答 神戸市や姫路市は貸し出しを行っているが、仕組みが必要でそこまでは考えていない。現在のところ閲覧のみを予定している。

その他

意見 議会基本条例を制定してから時間が経ち、見直しはしているが改正が必要である。そのために議会改革特別委員会を設置してはどうか。

答 議長諮問でもあり、今後見直す。



▲ 意見交換会の様子

意見 一般財団法人医療文化経済グローバル研究所ができたが、文化と芸術、医療をリンクさせる意味がわからない。

答 根底には社会的処方せうじやくちやうの考えがある。文化と芸術、医療などをリンクさせ、健康加齢の増進と幸福度上昇に寄与する。

令和5年度 政務活動費交付状況

「養父市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員個人に対して政務活動費を交付しています。政務活動費の額は、年額6万円です。(6万円を超える支出については、議員個人の負担となります。)

(単位:円)

議員氏名	交付決定額	申請額	交付確定額
足立 隆啓	60,000	3,940	3,940
植村 和好	60,000	27,500	27,500
勝地 貞一	60,000	18,090	18,090
川瀬 稔	60,000	52,370	52,370
浄慶 耕造	60,000	47,355	47,355
瀬原 敬樹	60,000	89,422	60,000
竹浦 昭男	60,000	0	0
谷垣 満	60,000	83,680	60,000
田村 和也	60,000	39,290	39,290
津崎 和男	60,000	21,861	21,861
田路 之雄	60,000	85,512	60,000
中島 恵子	60,000	0	0
西垣 司	60,000	52,370	52,370
西田 雄一	60,000	18,372	18,372
深澤 巧	60,000	116,820	60,000
藤原 芳巳	60,000	34,167	34,167
合計	960,000	690,749	555,315

ポイント!

☆ 養父市議会では政務活動費の使用用途について、条例の他に規則を設け、適正な使用に努めています。

また平成29年度から半期ごとの後払い方式に変更しました。

☆ 収支報告書と領収書の写し、また受講した研修の成果報告書を市議会ホームページに公開しています。



▲ 政務活動費使用用途について

(上記QRコードからアクセスできます)

表彰

全国市議会議長会会長表彰受賞



西田雄一 議員

市議会議員20年特別表彰

市議会の議員として顕著な功績が認められ表彰されました。また、令和5年度全国市議会議長会の副会長を務められたことに対し感謝状が贈られました。

兵庫県功労者表彰受賞



深澤 巧 議員



田村和也 議員

市議会議員15年表彰

市議会議員として市政の振興に顕著な功績が認められ表彰されました。また、全国市議会議長会からも長年の功績に対し表彰されました。

公立八鹿病院組合議会報告

3月定例会

3月28日(木)に開催し、条例の一部改正3件、補正予算1件、令和6年度会計予算1件の計5件を審議し原案のとおり可決した。

◎会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部改正

会計年度任用職員に勤勉手当を支給するため、改正を行うもの。

◎職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

国のデフレ完全脱却のための経済対策に基づき創設された、看護補助者処遇改善事業補助金等を活用し、各種職員賃金改善を図るため、支給要件を変更する条例改正を行うもの。

◎分賦金に関する条例の一部改正

不採算地区に所在する中核的な公立病院に対する財政措置が創設されたこと等に基づき、改正するもの。

◎令和5年度病院事業会計補正予算

収益的収入660万円を減額、収益的支出505万円を減額するもの。主な要因は、看護専門学校生徒数確定に伴う事業収益の減や、学校事業費用の減などによるもの。

◎令和6年度病院事業会計予算

収益的収入90億861万円(前年度比2億2,501万円減)、収益的支出94億9,457万円(前年度比1億824万円減)。主な収益的収入減の要因は、前年度比、入院患者数見込2,126人減、外来患者数見込6,292人減などによるもの。

◎一般質問

2人の議員から次の質問があった。

- 1 認知症PET-CTの導入について

- 2 医師の働き方改革の影響について
- 3 新年度予算について



▲ 導入されるPET-CT

南但広域行政事務組合議会報告

第172回臨時会

3月27日(水)に開催した。規約の変更1件、条例改正1件、補正予算1件を審議し、原案のとおり可決した。

◎兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更

兵庫県市町村職員退職手当組合の構成団体のうち、丹波少年自然の家事務組合が脱退することなどにより同組合の規約を変更するもの。

◎会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給が可能とされたため、改正を行うもの。

◎令和6年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に434万円を追加し、27億7,734万円とするもの。補正の主な内容は、会計年度任用職員の人件費の増額及びそれに伴うシステム改修委託料の増額によるもの。

大規模災害に備える地域防災力

総務文教常任委員会の調査

5月10日（金）、17日（金）「地域防災力の強化について」調査を行った。

兵庫県広域防災センターを視察

同センターでは防災体験学習により住民の防災意識や災害対応能力の向上を図っており、受講者は学校・こども園関係が多く自治会や民生委員、企業の受講もある。

兵庫防災リーダー養成講座は無料で受講でき、修了者には認定証と共に防災士の受験資格が得られ、高校生の受講もある。

災害の備えに物資、資機材の備蓄を

市は「コミュニティ助成事業」を活用し、近年では自主防災組織や地域自治組織が発電機や避難所設営の備品を整備している。また、市は同様の支援が得られる「ひょうご安全の日推進事業助成金」を各区長や地域自治組織を通じて広報し活用を勧めている。

「ひょうご安全の日推進事業助成金」

自治会、自主防災組織、地域自治組織、学校、企業・事業所等が行う防災訓練や防災学習、地区防災計画の策定、避難所自主運営マニュアルの策定等について県の助成制度があります。また、計画の策定を支援する専門家派遣の事業もあります。



市内の各地域自治組織の取組

防災に関する市の出前講座の受講や勉強会、県防災施設の視察をはじめ、防災備品の整備など様々な取組が実施されている。各地区の地形や実情を調査した話し合いを基に、地域づくり計画へ記載している事例もいくつかの地域自治組織で行われていた。

高柳地区自治協議会との意見交換

同協議会では「避難所自主運営マニュアル」「避難所生活ルールブック」等を作成しており、防災意識には大きな地域差があるとの指摘があった。また、世代を超えた地域のつながりは災害時に大きな力を発揮することから、子どもたちの防災教育や防災意識の醸成は重要であるとの意見があった。

大規模災害時には若い世代も含めた個々の住民が、災害時の自助・共助を主体的・主導的に進められるよう平時の訓練や防災意識の醸成に努めているとの報告を受けた。



▲地域の实情や行動指針を盛り込んだ自治組織独自のマニュアルを作成している

まとめ

地域自治組織との防災面での協働を進めると共に、地域の防災リーダーや防災組織を育成する取組を検討されたい。

防災マニュアルの作成や主体的に行う防災訓練を支援することで、前向きに取り組む組織や団体の意欲喚起につなげられたい。

各地区の防災計画の策定や備蓄資機材の有無、非常持ち出し袋の常備などの取組状況を可視化することで、各組織や団体の行動喚起と情報共有につなげるなど、災害リスクを可視化し地域防災力を強化・底上げするための全市的な取組を進められたい。

移動を支える地域交通の再構築

生活環境常任委員会報告

5月8日（水）「新たな地域交通の模索と今後の展望について」調査を行った。なおこの調査では、全但バス株式会社を参考人招致し、意見を聞いた。

市内公共交通の現況

養父市内にはJR2駅、全但バス8路線の他に、コミュニティバス、自家用有償（宿南ふれあい号、建屋タッキー号）、自家用有償観光旅客等運送（やぶくる）が整備されている。しかし公共交通の利用が少ないことで既存路線の縮小という事態も起こっている。

全但バスの最大の課題は運転手不足である。ドライバーの高齢化も進んでいる。同社はさまざまな手段を講じて難局に立ち向かっている。

路線バスを補う市が委託するコミュニティバス、自家用有償運送も概して利用が低調であったが、建屋タッキー号がデマンド化したことによって急速に利用者数を向上させている。バス路線との接続が便利になったことやカフェや買い物の利用者増によると考えられる。

やぶくるは旧関宮町・大屋町の地域限定走行であったが、4月から旧八鹿町・養父町の6拠点に限り域外スポット運行を可能とした。今後の利用者増が期待される。



新たな交通網への取組

市は地域交通の再構築（リデザイン）を加速させようとしている。一つは関宮小さな拠点の整備に合わせて予約制乗合交通（セミデマンド型）を走らせようとしている。家の近い距離に乗車ポイントが設定されることで、高齢者にとって格段利用しやすくなる。昨秋実証実験が行われ、参加者のアンケートが実施された。

NPO法人但馬を結んで育つ会や一般財団法人日本自動車研究所の協力を得て、出された課題を検討していくことになる。

また市は国の「自動運転社会実装推進事業」に応募し、採択されれば、JR八鹿駅～道の駅ようか但馬蔵（予定）を路線とした自動運転バスの実証実験を秋ごろに行う。ドライバー不足の対応やスローモビリティを目指すとする。

公共交通は住民の移動を保障する役割を果たすが、一方で収益性・効率性の課題が必ず付きまとう。交通事業者と自治体がそれぞれの課題に別々に取り組むのではなくまとまった事業体として運営できないか。それが「交通連合」の発想である。市は但馬圏域を舞台に交通会議への提案を行うことで、過疎地における新しい公共交通運営組織を模索している。

まとめ

「移動は基本的人権」という観点に立てば「交通権」は保障されなければならない。しかし住民は公共サービスを楽しむだけでなく、サービスが維持できる条件も生み出す必要がある。乗車率の低さと新たにドライバー不足という深刻な問題を抱えるバス路線の可能な維持を図りつつ、多様な交通手段を組み合わせることが求められる。

自治体・交通事業者・市民が集まって、高齢社会の中の人びとの移動について役割を明らかにしていく。その場こそ養父市地域公共交通会議である。市民を巻き込んだ議論が展開されることを期待したい。



自動運転自動車
モデル



上山 正男・さち子

昭和50年4月9日、桜の満開の中、養父神社で結婚式を挙げ50年になりました。夫婦共働きで三人の子育ても、母・祖母に助けられ私は出張も多く妻にも沢山協力してもらい感謝しております。会社勤務ではバブルの崩壊で大変な時期もあり、

迷い戸惑いながら苦勞の道もありましたが、三人の子ども達も家庭を持ち、孫達も健康に育ち家内共々、喜んでいきます。私の父は早く亡くなり孫を見ていません。私は孫も見て幸せ者だと思っております。昨年春、母が亡くなり命の尊さを知らせてくれました。残された人生は、二人揃って健康に心掛け支え合いながら、楽しく暮らしたいと思っております。子ども達や私達に関わって頂いた方に、感謝の気持ちを込めて。合掌。



小谷 勇・恵美子

茨木市で二人だけの生活が始まり、その後転勤で関西へ帰り賑やかな生活になりました。当時はモーレツ社員時代で早朝出勤し夜遅く帰宅することが常で、家のことは家族任せでした。近年は自分で労働時間を管

理し、現在も会社勤めができていくことは有難く思います。その様な中、東海道五十三次を徒歩で完全踏破したことは二人の大イベントになりました。今迄様々な困難もありましたが、お陰様で金婚式を迎えることができ皆様に感謝しております。五十代に古文書に出会い、「古文書をする」がライフワークとなりました。妻は花と野菜作りを楽しんでいます。これからもシンブルライフを心掛け自分たちの出来る社会貢献をしたいと思えます。

市民の窓

金婚式を迎えて



平岡 信男・夏枝

結婚50年。よく持ったもの。振り返れば大病が3度。その都度妻には心配や迷惑のかけっぱなし。医師の処置や手厚い看病等、頭が下がるばかりです。

現在では、脳梗塞により不自由さがありますが、健康に留意し余命を楽しく暮らしたいと念じております。

よろこべば
よろこびごとが
よろこびごとを
集めて
よろこびにくる

感謝 ありがとう



塩見 浩二・澄江

姉から神戸新聞主催の金婚式の式典に出席できる対象者であることを知らされました。そうなんです。義兄と私の姉二組一緒に結婚式を挙げたんです。知人からラインで、ご主人の両親も自分の両親

親も迎えることができなかつたので、知り合いの名前を見るとわがことのようにうれいと言ってもらったことで、50年を迎えることは並大抵のことではない、ましてや二組揃ってなんてことはすごいことなんだと痛感しました。

この幸せな日に姉と二人着物を着せて送迎もしてくれました。初給料で花束をくれた孫娘。そんな幸せを感じながらこれからも元気に過ごしていきたいと思えます。

9月定例会開催予定

8月 27日(火)	本会議①	開会
8月 28日(水)	本会議②	
9月 9日(月)	本会議③	一般質問①
9月 10日(火)	本会議④	一般質問②
9月 11日(水)	本会議⑤	一般質問③
9月 20日(金)	本会議⑥	閉会

※予定ですので、今後変更になることがあります。

議会広報特別委員会

あとがき
7月になり、ひまわりの黄色い花が咲き始めました。黄色は幸せの象徴ともされますが、ひまわりが父の日のプレゼントなのは、母の日のカーネーションほどは知られていません。暑い夏の日も咲き続ける生命力は、私達を元気づけてくれます。パリ五輪が7月26日から開催されます。真夏の大会に選手たちの活躍が、また私達を元気づけてくれるでしょう。